

真面目にモノを伝える文書に、不要なイラストを入れないで！ 読み手の気がそれてしまふだけでなく、「ふざけている？」という印象を与えかねません。読み手はおとな。イラストや写真は説明に必要なものだけ。

●年●月●日  
■■保育園  
園長 ▲▲▲▲

## 排泄ケアの方法、および嘔吐時の対応： 特に衣服に関するお願い

▶ オムツ交換：消化器系感染症の集団感染（※）をできる限り予防しつつ、かつ、頻回の消毒で子どもと保育者が有害物質（塩素）を吸入することを防ぐため、当園では、子どもが床面にお尻を直接つけない形でオムツ交換をしています。（一社）全国保育園保健師看護師連絡会と感染症専門医による方法です。そのため、防水性のある紙（ツルツルの広告紙や、コピー用紙の包装紙）を集め

ています。●●に置いてある箱に入れてください。

お子さんのオムツ交換で広告紙等のリサイクル紙を使うことに抵抗のある方は、医療用やペット用の防水シートをお持ちください（お子さんの名前を外袋にご記入ください）。

いやなら持参してね♡

▶ 排泄ケア：消化器系感染症の集団感染をできる限り予防するため、排便後のお尻洗いはしません。洗うことで、ウイルスや菌を含む飛沫を環境中に広げるリスクがあるためです。

▶ 汚れた服：お子さん自身の尿や便、吐物がついた服はビニール袋に入れてお返しします。塩素系消毒剤（塩素系漂白剤）か熱湯で消毒してから、洗濯してください。（熱湯消毒法は別紙）

2つのうち、どちらかを選ぶ

▶ 汚れた服：別の子どもの吐物がついた服は、吐いたお子さんの保護者の方にお渡ししますので、消毒、洗濯、返却してください。消毒に際して色落ちしたり縮んだりすることがあります。

▶ 汚れた服：別の子どもの吐物がついた服は、園で塩素系消毒剤を使って消毒、お返しします。消毒に際して色落ちしたり縮んだりすることがあります。

▶ 保育中は、最悪、捨ててもよい服を：尿や便、吐物がつくだけでなく、消毒で色落ちしたり、活動中に汚れたり破れたりすることもありますので、保育中は、最悪の場合には捨ててもいい服を着せてください。汚損したくない服を着て登園・降園する場合は、保育中に着る服をご用意いただき、朝、着替えさせてください。

▶ 当園では「保育所における感染症対策ガイドライン」に従い、次亜塩素酸ナトリウムの薄め液を用いた日常の清掃、および嘔吐下痢の時の処置をしています。

※ノロウイルス、ロタウイルス、腸管出血性大腸菌等による感染症で、便や吐物を介して経口感染する。ノロウイルスは特に感染力、生存力が強く、目に見えない飛沫（吐物）等に含まれる程度のわずかなウイルスでも感染が広がる。症状がおさまった後もノロウイルスは数日以上、排泄される。不顕性感染もあり、症状がなくても他人に感染させことがある。ノロウイルス、ロタウイルスにアルコール消毒は有効でない。